

発表年月日	平成19年11月12日
作成部局 課室名	産業労働部国際局 国際政策課

## 「日中公開シンポジウム」の開催及び参加者募集について

「今後の日中関係の行方」について、日中の元外交官・専門家がそれぞれの立場で議論し、問題点や今後の課題を定義する公開シンポジウムを開催します。

1. 日 時 平成19年12月20日(木) 15:00～17:00
2. 場 所 独立行政法人国際協力機構兵庫国際センター (JICA兵庫)
3. 主 催 財団法人日本国際問題研究所
4. 共 催 兵庫県
5. テーマ及び概要

〔テーマ〕

日中関係の行方

〔概要〕

2006年10月の安倍首相(当時)の訪中以来、日中は友好関係を取り戻しつつある。日中両国政府は、お互いに戦略的互惠関係にあることを確認しており、今後も両国の友好関係を発展させていくことを目指している。日中間で戦略的互惠関係を構築するには、どのような努力が必要か。元外交官、専門家がそれぞれの立場から議論し、問題点や今後の課題を提起する。

### (6) パネリスト・コーディネーター

〔日本側パネリスト〕 谷野 作太郎 元中国大使

高木 誠一郎 青山学院大学教授

〔中国側パネリスト〕 馬振崗(ば しんこう) 中国国際問題研究所所長

甄炳禧(けん へいき) 中国国際問題研究所研究員

〔コーディネーター〕 長内 敬 日本国際問題研究所主幹

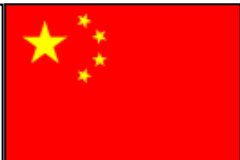
パネリスト及びコーディネーターの略歴は別紙参照

### (7) 言語：日本語及び中国語の同時通訳

### (8) 参加者募集概要

- ・ 参加費：無料
- ・ 定 員：80名(申込先着順。定員になり次第締め切り)
- ・ 申込方法：兵庫県国際政策課までFAXで申込みください。  
(FAX番号：078-362-3961)  
申込用紙は添付ファイルのとおり
- ・ 来場方法：会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

【問い合わせ先】国際政策課企画係 TEL 078-362-3025



# 日中公開シンポジウム

【主催：財団法人日本国際問題研究所 共催：兵庫県】

## 日中関係の行方

2006年10月の安部首相(当時)の訪中以来、日中は友好関係を取り戻しつつある。日中両国政府は、お互いに戦略的互惠関係にあることを確認しており、今後も両国の友好関係を発展させていくことを目指している。日中間で戦略的互惠関係を構築するには、どのような努力が必要か。元外交官、専門家がそれぞれの立場から議論し、問題点や今後の課題を提起する。

### パネリスト

日本側：谷野作太郎	日本国際問題研究所評議委員 / 元駐中国大使
高木誠一郎	青山学院大学教授
中国側：馬振崗	中国国際問題研究所所長
甄炳禧	中国国際問題研究所研究員
コーディネーター	
長内 敬	日本国際問題研究所主幹

お問い合わせ・申し込み先：兵庫県国際政策課

TEL：078-362-3025 FAX：078-362-3961

日時 平成19年12月20日(木) 午後3時～5時

場所 独立行政法人国際協力機構兵庫国際センター(JICA兵庫)  
2階 プリーフィングルーム

### 【参加希望の方へのご案内】

参加費 無料

定員 80名(お申し込み先着順)

裏面が申し込み用紙となっておりますので、FAXにてお申し込みください。

(12月11日到着分まで有効)

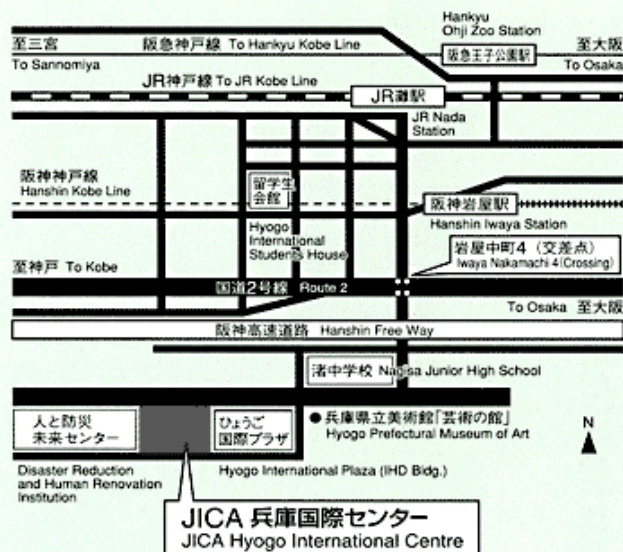
空き席がある場合は、当日でもご参加いただくことができます。

同時通訳施設あり(日本語・中国語)

会場には駐車場がございませんので、公共共通機関をご利用ください。

- ・JR「灘」駅から徒歩約12分
- ・阪神「岩屋」駅から徒歩約10分

【兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2】



# パネリスト・コーディネーター紹介

## 谷野作太郎 日本国際問題研究所評議員 / 元駐中国大使

東京大学法学部卒業後、1960年外務省入省。中国課長、内閣総理大臣秘書官、在米国日本大使館公使、アジア局長、内閣官房内閣外政審議室長、駐インド大使などを経て、1998年から2001年まで駐中国大使を務めた後に退官。退官後は株式会社東芝取締役、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科客員教授等を歴任。著書に『アジアの昇龍 - 一外交官の見た躍進韓国』（世界の動き社、1988年）。

## 高木誠一郎 青山学院大学教授

東京大学教養学部卒業後、スタンフォード大学政治学科大学院にて博士号取得。埼玉大学教授、政策研究大学院大学教授、防衛研究所第二研究部長などを経て、2003年より現職。専攻は国際政治学、現代中国研究、アジア・太平洋の国際関係。著書に『米中関係 - 冷戦後の構造と展開』（編著、日本国際問題研究所、2007年）など。

## 馬振崗 中国国際問題研究所所長

北京外国語学院（現北京外国語大学）卒業後、1965年中国外交部（外務省）入部。北米・大洋州局長、國務院外事弁公室副主任、駐英国大使などを経て2004年8月より現職。ミドルセックス大学より名誉博士号、セントラル・ランカシャー大学より名誉学士院会員、英国王立アジア・ソサエティー名誉研究員、ロンドン市名誉市民などを授与。第10期中国人民政治協商会議全国委員会委員、同委員会外事委員会副主任、CSCAP中国委員会会長。

## 甄炳禧 中国国際問題研究所研究員

中山大学卒業後、ジョン・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)にて博士号取得。1982年より中国国際問題研究所勤務。在NY総領事館領事、在米国大使館公使参事官、中国国際問題研究所副所長等を歴任。専攻は世界経済、アメリカ経済、米中経済関係。

## 長内敬 日本国際問題研究所主幹（コーディネーター）

一橋大学卒業後、1976年外務省入省。在ロシア日本国大使館参事官、欧州復興開発銀行日本理事代理、大蔵省関税局調査保税課長、外務省通信課長、同総合外交政策局参事官（軍備管理・科学担当）、在ロシア日本国大使館公使、在ハバロフスク日本国総領事などを経て、2007年3月より現職。

## 12月20日(木)日中公開シンポジウム参加申込書 【FAX番号：078-362-3961】

参加者氏名	住所・連絡先	ご職業
1	住所 TEL	
2	住所 TEL	
3	住所 TEL	
4	住所 TEL	
5	住所 TEL	

上記に必要事項を記載のうえ、**12月11日(火)までに兵庫県国際政策課までFAXしてください。**  
本申込書に記載いただきました個人情報、当シンポジウムの目的以外に使用いたしません。  
(個人情報の取扱いは、兵庫県条例に基づき、適切に管理いたします)